



JAXA様からの感謝状



小型高分解能光学センサ (SHIROP)

超低高度衛星技術試験機「つばめ」(SLATS)への 貢献で感謝状

超低高度衛星技術試験機「つばめ」(SLATS)への貢献により、JAXA宇宙航空研究開発機構様より感謝状をいただきました。「つばめ」は当初予定していた成功基準を上回る成果を達成し、これまでにない新たな衛星利用の可能性を切り拓きました。

当社は、「つばめ」に搭載された小型高分解能光学センサ(SHIROP)の開発を担当し、世界に例を見ない超低高度からの高分解能撮像の実証が行われました。これらミッションの成功に関わる貢献により、感謝状が贈呈されたものです。

明星電気はこれからも宇宙開発の発展に貢献していきます。

(担当:宇宙防衛事業部)



学会オープニング



当社社員による発表

「100th AMS annual meeting in Boston」に参加

1月12日から16日まで、アメリカ合衆国ボストンで開催されたアメリカ気象学会「100th AMS annual meeting in Boston」に当社社員が参加し、口頭発表を行いました。2019年度より総務省の戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE)の支援を受け実施中の、「雲/降水粒子撮像装置ビデオゾンデの1680MHz帯実験局から400MHz帯気象援助局への移行技術の研究開発」の研究成果とともに、明星電気がこれまで手がけてきた雲/降水粒子観測技術を紹介しました。ビデオゾンデは日本(明星電気)独自の技術であり、アメリカの研究者からも高い関心を得ることができました。

製品化に向けて開発を進めるとともに成果発表を行い、アメリカ気象学会での明星電気の知名度向上を目指します。

(担当:気象防災事業部)



POTEKA

気象WEBサービスMiCATAでPOTEKAを活用

1月に行われた箱根の駅伝で、ウェザーニューズ様の気象サービスMiCATAに、当社のPOTEKAの観測した実況データが活用されました。MiCATAとは、ウェザーニューズ様が展開するスポーツチーム・アスリート向け気象WEBサービスで、この駅伝向けには往路・復路の予報や観測データが提供され、出場大学のサポートにPOTEKAの観測データも活かされました。

POTEKAによる現地の観測データがMiCATAで処理され、チームに伝わることで、選手自身のペース配分や寒さ対策、強風への対応などのレース戦略にも役立てられます。

今後もスポーツイベントなどさまざまな分野でPOTEKAが活用されるように、事業を展開していきます。

(担当:気象防災事業部)

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により、革新的な商品・サービスを創造し、安全・安心な社会の発展に貢献していきます。